



民生委員 だより

児童委員

発行 伊勢原市民生委員児童委員協議会
編集 広報委員会

〒259-1188 伊勢原市田中348番地
☎0463(94)4718

ホームページ：『伊勢原市 民生委員』で検索 <http://www.city.isehara.kanagawa.jp/docs/2018053100033/>

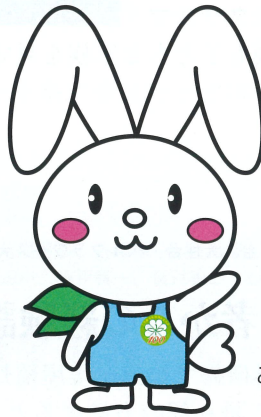


民生委員児童委員は地域の身近な相談相手です

こんなときは民生委員児童委員にご相談ください！

例えば 子どもが生まれたが、近隣に親族や知人など相談相手がおらず、何かあったら不安…

例えば 高齢の方がひとりで生活されているが健康管理など、ちゃんとできているか心配…



みんびよん

例えば 福祉サービスを受けたいが、行政のどこに相談すれば良いかわからない…

例えば 障がいがあるが、どこに相談すればいいか…？

etc...

適切な関係機関につなぐお手伝いをします！

「みんびよん」は、神奈川県民生委員児童委員協議会のキャラクターです。

市内小学生に向けて民生委員児童委員の活動を紹介しました！

各地区の民生委員児童委員が市内の小学校高学年に向けて、全国民生委員児童委員連合会発行のフリーペーパー「みんせい！」を配布して、民生委員児童委員の活動内容を知っていただきました。



「みんせい！」は小学生向けですが、民生委員児童委員の活動内容が非常に分かりやすく記載されており、各学校に配布した際も好評でした。

ぜひホームページなどで一度ご覧ください。



全国民生委員児童委員連合会のホームページにつながります。



伊勢原市民生委員児童委員協議会の組織について

伊勢原市民生委員児童委員協議会

各地区民生委員児童委員協議会
(伊勢原北・伊勢原南・大山高部屋・比々多・成瀬・大田)

区域担当委員
(120人)

自治会単位を基本に配置しています。高齢者や障がい者、児童の生活上の相談など全般的に活動しています。

主任児童委員
(13人)

小学校区単位を基本に配置しています。児童を専門に学校や行政と連携して活動しています。

民生委員児童委員の連絡先

地区の担当委員をお知りになりたいときは、事務局に連絡してください。
☎ 連絡先 伊勢原市役所 1階 福祉総務課 ☎94-4718(直通)

大山高部屋地区 25自治会

大山上、大山中、大山下、子易上、子易下、川上、ペ引、峰岸上、峰岸下、ハイム上粕屋、峰岸団地、辻尾崎秋山、台久保、山王原、石倉、子易、一之郷中丸、宮下、宝地九沢長竹、原、日向の里、新田、洗水、坊中高橋、藤野

— 保育クラブの活動 —

近年のコロナ禍の影響で外出することが難しい状況の中、母子の孤立化が心配されます。大山高部屋保育クラブにおいても様々な催し物が縮小・中止となったものの、5月には「公園で遊ぼう」と題する行事で好天の中、会員25名(幼児12名)と、委員17名で、伊勢原市総合運動公園を訪れることができました。



好天のなか交流を深めました



公園では児童演劇協会の方による本の読み聞かせなどを行い、楽しいひと時を過ごせました。

秋以降もサツマイモ掘りやミカン狩り、またクリスマス会など様々な行事を計画しております。今後も子どもと家族を見守り、母子の出会いの場を提供していきたいと考えています。

比々多地区 11自治会

神戸、串橋、笠窪、坪ノ内、善波、栗原、三ノ宮、白根、もえぎ台、大住台、ベルフラワーズ大住台



大津波被害状況などを展示するいわき震災伝承みらい館

— 津波被災者からの経験談を聞いて —

3年ぶりの県外研修で福島県塩屋埼灯台周辺の津波被災地を訪れました。語り部の方によると、「このあたりは過去に大きな津波被害が無かったという油断から、大津波警報を聞いても避難せず、結果として、多くの方が被災した。そのため今はこれを教訓としている。」とのことでした。

これは私たちの避難行動にも当てはまります。今年も各地で大雨などによる避難指示が頻繁に発令されましたが、皆さんは避難準備をされましたか。また地域の取り組みとしては、自力避難が困難な方への支援も課題であり、これには自主防災組織などの地域の協力体制が必要不可欠です。

私たち民生委員児童委員も見守り活動などを通じ、支援体制の更なる充実に努めていきたいと思ひます。

伊勢原南地区 20自治会

大原町、千津南、下大竹、谷戸大竹、池端、中尾、大匂、馬渡、八幡台一区、八幡台二区、八幡台三区、原之宿、天王原、上平間台、沼目団地、星和マンション、ネオハイツ、平間台、木津根橋、サンクレイドル

— 通学路に花壇を作りました —

竹園小学区の民生委員児童委員の呼びかけで、2月末に通学路の点検を行いました。通学路脇には、急斜面で、夏には背の高い雑草が生い茂っている危険な場所がありました。馬渡自治会と市の道路整備課と検討した結果、子ども達が危険箇所付近に近付かないよう、手前に花壇を作ることになりました。



6月の植栽後の様子

4月にはマリーゴールド、6月にはコキア・ケイトウ・百日草などを植え、手作りの看板も設置しました。植栽には、自治会の役員と校長先生も参加して下さいました。その後も、状況に応じて草刈り等の手入れを行っています。



2月点検時の様子

これからも、子ども達の安全を見守るとともに、花壇の手入れも続けていきたいと思ひます。

伊勢原市の民生委員児童委員活動

伊勢原市の民生委員児童委員は133人です。このうち自治会の範囲を基本に地区で活動する委員が120人、児童を専門とする主任児童委員が13人となっています。

各委員は、6地区に分かれ、個人活動だけでなく、地区全体での活動も行っています。

ここでは各地区の様々な活動をご紹介します。

(令和4年12月1日現在)

地区名	委員総数	★
伊勢原北	25人	2人
伊勢原南	30人	2人
大山高部屋	21人	2人
比々多	13人	2人
成瀬	31人	3人
大田	13人	2人
合計	133人	13人

★は委員総数内における主任児童委員の人数

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、活動をする際は短時間かつ距離をおいての活動となっています。従来どおりの活動に戻るまでご不便をおかけすることもあるかと思ひますが、ご了承願ひます。



主任児童委員

— 主任児童委員の活動 —

主任児童委員は、子育て専門のサポーターです。18歳までの子育ての悩みや心配事など民生委員児童委員、学校、子ども家庭相談課等と連携し、支援を行っています。毎月1回の連絡会で情報交換や研修を行っているほか、「子育てサロン」、「放課後児童見守り活動」などへの協力も行っています。

本年は、毎月の連絡会で「ファミリーサポート・センターと子育てサポーターについて」、「地域福祉を考える会主催の子ども支援事業について」等の研修を行いました。困った人に必要な支援やサービスを受けられるように「専門機関へのつなぎ役」として活動するためにも、スキルアップしていきたいと思ひます。



定期的実施している研修の風景

成瀬地区 20自治会

下糟屋、東富岡、栗窪、前高森、北高森、小金塚、石田、見附島、下落合、高森台、東高森団地、あかね台、南落合、白金山団地、みどり、リパティタウン伊勢原、すみだ、リパティタウン伊勢原第2、アイリスの丘、東成瀬

— 放課後見守り活動について —

コロナ禍で研修の機会が制限される中、成瀬地区では民生委員児童委員制度100周年の活動強化策の一環として、「ナルミンプラン」と名付けたグループ討議を実施してきました。訪問活動や地域活動をする中で、地域の実情を把握し、様々な問題や課題をグループに分かれて話し合ってきました。



地域の情報を共有しています

さらに令和4年に発表された「神奈川県版活動強化方策(みつける・つなぐ・みまもる)」に基づき、問題や課題にどのようにかわり、どの機関と情報共有すれば解決につながるか、成瀬地区としての活動のヒントを確認しました。

今後もこのヒントを基に委員同士で情報を共有し、問題の解決に取り組んでいきます。

伊勢原北地区 15自治会

伊勢原上、伊勢原第三、伊勢原第四、片町第一、片町第二、七区第二、駅前第一、千津北、金山、池端坂戸、田中、板戸第一、板戸第二、板戸第三、アメニティ板戸

— 訪問研修を実施して —

今年度は感染対策を徹底して、障がい者支援施設「足柄療護園」にて訪問研修を実施しました。施設内の見学こそ出来ませんでしたが、施設の方から障がいに関わるお話や、施設を利用している方のお話を聞かせてもらうことができました。



日帰り研修の様子

話を伺ったお一人は不自由な足で戦後の大変な時代を生き抜いてこられた方で、力強いお話に心を打たれました。もうお一人は、25年前に突然寝たきりになり会話も出来なくなった方でした。苦難を乗り越え、笑顔で車椅子に乗り「目標を高く持って下さい」と明るく話す姿に逆に励まされ、胸がいっぱいになりました。

その後、施設利用者さんが作業をされているスイーツのお店「ふくらん」を訪ねました。購入したプリンは、とても美味しかったです。

私たちはこうした研修を通して、これからも地域の皆さまや障がいを持つ方々のお力になれるよう、広い視野を持って活動してまいります。

大田地区 11自治会

上谷、下谷、沖小稲葉、西屋、新屋、下小稲葉、上平間、下平間、東沼目、西沼目、つきみ野

— 民児協と学校との情報交換会及び地区自治会長との懇談会 —

今年は3年ぶりに大田小学校の校内参観が実施されました。学校から教育目標などの説明を伺い、その後、校内の様子を見学しました。

校内は各教室にエアコンが設置され、高学年にはタブレット端末が支給されており、各児童も快適な環境で勉強に取り組んでいるとのことでした。

地区自治会長との懇談会では、東部地域包括支援センターとの関わりや、高齢者やその家族、また一人暮らし世帯への対応等、様々な意見交換を実施しました。

これからも地域の連携を深めて、地域全体で支援体制を充実させたいと思ひます。



学校と情報交換を実施

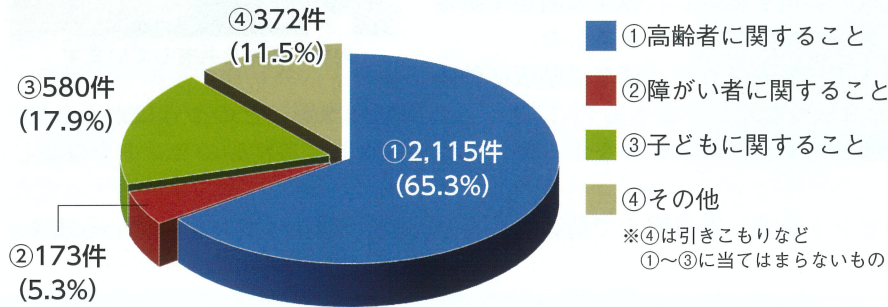
民生委員児童委員の活動実績

民生委員児童委員は、高齢者、障がい者、子育て、生活困窮など、福祉的な支援が必要なときの相談や地域での見守りなどの活動をしています。

また、新型コロナウイルスの影響により活動が制限されておりますが、地域での高齢者や子育てに関するミニ・サロン、福祉施設などでのボランティア、交通安全パトロール活動などさまざまな活動の実施や協力なども行っています。

令和3年度活動実績

相談・支援件数 (3,240件)



成瀬地区子育てサロン

令和3年度の活動実績は相談・支援活動が合計3,240件あり、分野別では、高齢者に関することが2,115件と一番多く、その他には障がい者に関することが173件、子どもに関することが580件、その他が372件になりました。

また、年間活動日数は総数で19,906日、一人当たり約143日になりました。昨年度は一人当たり130日程度だったため、徐々に活動日数が増えております。しかしながら例年一人当たりの活動は150～160日程度だったため、新型コロナウイルスの影響で未だ活動が制限されている状況となっております。

専門部会の活動について

各地区の民生委員活動には、地域の見守りなどの活動だけでなく、それぞれ児童福祉専門部会、障害者福祉専門部会、高齢者福祉専門部会といった専門部会で研修をしています。

それぞれの部会の立場から、話し合いや研修会を実施し、地域のこれからを考えた活動もしており、各民生委員児童委員は3年の任期の間にすべての専門部会活動を経験します。

本年度の専門部会研修内容

以下の内容について、民生委員児童委員としての関わり方や現状の制度や状況等を学びました。当日は活発な質疑応答も行われ、様々な地域の委員同士による情報交換ができました。

部会	主な研修内容
高齢者	8050（はちまるごまる）問題における伊勢原市の現状及び民生委員児童委員の関わり方
障がい者	障がい者福祉の状況や制度、障がい者就労支援施設（地域作業所ドリーム）の活動内容
児童	コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）と地域学校協働活動、多文化共生について



研修の様子

広報委員会

編集後記

委員長	出縄 幹雄（伊勢原北）	湯口 昌子（伊勢原南）
【地区担当】	福岡 敦子（伊勢原北）	飯塚 和男（比々多）
	長塚多美江（大山高部屋）	浅田 信男（大田）
	大木都起子（成瀬）	
【高齢者福祉専門部会】	伊坂由貴子（成瀬）	
【障害者福祉専門部会】	山口 孝二（伊勢原北）	
【児童福祉専門部会】	板倉 博子（伊勢原南）	
【主任児童委員】	岩崎 敏一（成瀬）	

私たち民生委員児童委員は今年12月、3年に1度の全国一斉改選を迎えました。

新たな委員が委嘱されたこともあり、あらためて皆さまに少しでも民生委員児童委員を身近に感じていただけるような話題が提供できたのではないかと考えております。